

第11回 人権・部落問題学習実践交流会

(二次案内)

- ◇目的 ○「まずはやってみよう」と取り組んだ人権・部落問題学習の実践報告をもとに討論し、さらに多くの実践へとつなげる。
○これまでに取り組まれた実践に学び、小学校・中学校・高校・特別支援学校等における人権・部落問題学習の進め方を考える。

◇日時 2024年 1月15日(月) 9時50分～16時30分(受付:9時30分～)

◇場所 川棚町中央公民館 (〒859-3614 東彼杵郡川棚町中組郷1506 電話:0956-82-2064)

◇参加費 無料

◇日程 ※日程の詳細・報告順等は当日会場にてご確認ください。

参加費無料

9:30	9:50	10:10	10:20		16:20	16:30
受	開	移		分科会 ※昼食休憩を含む		閉
付	会	動				会
	行					行
	事					事

お願いとお知らせ

- ・消毒用アルコールは、会場に準備しています。
- ・発熱等、風邪の症状がある方はご参加をお控えください。
- ・会場に飲食できる場所がありますが、弁当販売等はありません。各自ご準備ください。
- ・食事等で出たゴミについては各自お持ち帰りください。

会場が冷えるおそれがあります。
寒さ対策をお願いします。



◎災害等で、内容変更・中止せざるを得ない場合には、長崎県人権教育研究協議会のホームページ(<https://chojinkyoo.net>)にてお知らせいたしますので、ご確認をお願いします。

申込方法

こちらのURL【 <https://bit.ly/47w4bKs> 】

または【[長崎県人権教育研究協議会 HP](#) -第11回人権・部落問題学習実践交流会-】

からお申込みください。(右記の二次元コードからもお申込みできます→)



※申込締切 1月10日(水)

- ◆お申込みいただいた個人情報は本実践交流会以外には使用いたしません。
- ◆事前申込をしていない場合でも当日の参加は可能ですが、会場および資料の都合上、事前申込にご協力をお願いいたします。

【主催】長崎県人権教育研究協議会 大村東彼地区人権教育研究協議会
【後援】長崎県教育委員会 川棚町教育委員会 大村市教育委員会 東彼杵町教育委員会
波佐見町教育委員会 長崎人権研究所 部落解放同盟長崎県連合会

お問合せ 長崎県人権教育研究協議会

TEL/FAX 0957-50-1268

URL <https://chojinkyoo.net>

第1分科会 -まずはやってみよう-

- ❖ わたしは「最強」からの「脱却」～子どもの町総選挙を通して～
2022年6月に「こども基本法」が制定されました。私たちは、教室の中でどのように「子どもの権利」を保障していけばよいのでしょうか。班づくりを中心として、子どもが主体の学級づくりにとりくんだ実践を報告します。
新上五島町立青方小学校 山口 武さん
- ❖ 「学年別 人権学習」の取り組み
人権集会に向けた学年別の学習として、1年生「多様性」、2年生「アンコンシャス・バイアス」、3年生「全国高等学校統一用紙」をテーマに学習を行いました。各学年の実態に合わせて行った実践を報告します。
大村市立大村中学校 西 和美さん
- ❖ 男の子らしさ、女の子さって何だろう？
「男の子だから…、女の子だから…」というクラスの声に、担任として小学3年生でもジェンダーについての授業ができないかと考えていました。固定概念をゆさぶる教材と出会い、課題と重ね合わせる工夫をして、子どもたちと考えた報告です。
壱岐市立渡良小学校 竹尾 保香さん

第2分科会 -深めよう 社会科 地歴・公民科-

- ❖ 6年生社会科の授業における部落問題学習
7回の社会科（歴史）の授業を通して、前時の子どもの感想から授業内容を創ることで、子どもが主体的に考え、差別をなくす当事者になることを目的にとりくんだ実践です。
諫早市立飯盛東小学校 山崎 一人さん
- ❖ 水平社宣言とこれからのわたし
6年生社会科での実践です。「蘭学のはじまり」の学習後、子どものふり返りから、学び直しをすることにしました。水平社宣言を教材化して、どうすれば差別はなくなるのか、自分のこれからの生き方を考えさせた授業の実践を報告します。
長崎市立銭座小学校 佐藤 秀法さん
- ❖ 「全国高等学校統一用紙」学習
3年生の人権学習で「全国高等学校統一用紙」を使って学習しました。入試面接の練習が始まっている時期に、部落差別についての知識、就職差別とそれをなくすための取り組み、インターネット上の差別などを体験的参加型学習を通して学習した報告です。
大村市立桜が原中学校 大塚 真一さん

第3分科会 第1分散会 -豊かなつながり①-

- ❖ 「お母さん、先生今日来ると？」
6年生で不登校になったAさんとの1年間の関わりの中で、子どもと子ども、子どもと大人、大人と大人がつながることの大切さを実感しました。子どもと外の世界をつなぐために取り組んだ実践を報告します。
西海市立大崎小学校 森 祐輝さん
- ❖ 2年生担任（新採2年目&32年目）の「あゆみ」
様々な個性ある子どもたちを輝かせるためにアイデアを練り工夫してきました。これまでを振り返り、考えていく機会にしたいと思います。互いの考えを尊重しながら楽しくがんばった日々の取り組みを報告します。
雲仙市立小浜中学校 伊藤 千夏さん・崎山 隆史さん
- ❖ 原10回帰（げんてんかいき）
野母崎小中一貫青潮学園は開校10周年を迎えます。開校当初の「子どもたちによりよい教育を」という願いを達成するために、「夢・憧れ・志」を育む学校づくりに取り組んでいます。原点を見つめ、10年間の歩みをたどりまします。
長崎市立野母崎中学校 田口 治香さん
- ❖ 苦手なことについていっしょに向き合う～特別支援学級での実践～
2年間担任した特別支援学級のAさんに関わる実践報告です。Aさんを担任していた時の実践と、その2年後に共同及び交流学习の交流先の学級担任として再びAさんと関わった際に取り組んだことについて報告します。
平戸市立田平東小学校 田原 智志さん

第3分科会 第2分散会 -豊かなつながり②-

- ❖ とともに歩みながら～不登校児童と歩んだ1年間～
小学校最後の学年で突然不登校になった児童に担任として関わった実践報告です。児童、保護者と対話しながら、登校するためにどうしたらよいかを模索し続けました。多様化する不登校の現実、その一部を参加者と共有できたらと思います。
長崎市立銭座小学校 小田 将悟さん
- ❖ これからも互いに肩貸しあってがんばろう～「自分を語る」仲間づくりの実践を通して～
3年間、担任として関わってきた生徒たちとの仲間づくりの実践です。「自分を語る」取り組みを中心に、本音を出し合い、仲間の思いを受け止め合いながら成長を目指しました。また、実践を通して報告者自身の学びと変容を報告します。
佐世保市立中里中学校 野本 潤也さん
- ❖ 学校ってどんなところ？～子どもたちに伝えたいこと～
「友だちとどう関われば学校生活は豊かになる？自分にとって、みんなにとってどんな学校であってほしい？」人権学習の講師として訪れた学校の生徒と、ともに考えるために作った授業の実践を報告します。
対馬市立豊小学校 築地 文香さん・対馬市立東部中学校 佐伯 満智子さん
- ❖ 私が思い描く教師像とは？～「先生このままじゃいけないよ」と問われた日から今までを振り返る～
赴任して1年目に生徒に問われた。同和教育を学び、安心して過ごせる居場所をつくるために子どもと関わり続けてきた。つながることの難しさや苦悩が絶えない中でも、卒業を迎える前に何かできることはないかと模索する日々を報告します。
佐世保市立早岐中学校 桑原 卓也さん